

通信教育部 経営情報学部 経営ネットワーク学科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教育課程の編成及び特色

いま社会で注目を集めている e-ビジネスに着目し、インターネットを活用した新しいビジネスの構築、ネットワークの理解と創造、さらにネットワークによって可能になる海外進出のためのコミュニケーション能力の養成など、現代社会にマッチした企業経営を学ぶカリキュラムを編成しています。

学びの目的に応じて「経営管理システムスペシャリスト」、「e-ビジネススペシャリスト」、「グローバルビジネススペシャリスト」という3つのモデルコースを用意しています。

本学の授業は、「教養教育科目」「専門教育科目」「教職に関する科目」に大別されます。「教養教育科目」は幅広い知識の教授、知的訓練、社会の変化に対応できる資質と能力等の育成を目的としています。「専門教育科目」は基礎・応用・発展の3つに分類され、学問の専門性を高めていくものです。

2. 教育の方法

本学の授業は、次の4種類の授業形態により実施します。

① 印刷授業

教科書・学習用プリントなどを基に自宅等で学習を進めます。2単位で90時間の学習を標準とします。

② 面接授業（スクーリング）

担当教員と対面で授業を行います。1単位で3日間(15コマ)、2単位で3日間(15コマ)または6日間(30コマ)、4単位で6日間(30コマ)の集中授業を行います。

③ インターネットメディア授業

eラーニング教材での学習を行います。課題や小テストなどを含め2単位または4単位で学習時間30～60時間相当の教材です。

④ IPメディア授業（正科生Bのみ履修可）

スタジオから教育センターへ向けインターネットを介した、生放映の授業を行います。2単位または4単位で15コマまたは30コマの授業を行います。

学修成果の評価は以下の方法で行います。

① 印刷授業、インターネットメディア授業、IPメディア授業は原則、試験で評価します。

② 面接授業は、試験のほか、成果報告・研究発表や実技により評価します。

3. モデルコース・専攻別カリキュラムポイント

モデルコース・専攻別カリキュラムポイントを別表1に、モデルコース・専攻別履修推

奨科目を別表 2 に示します。

4. モデルコース・専攻別履修指導方法

経営ネットワーク学科では必修科目を設定していません。

専門教育科目は、基礎、応用、発展の 3 段階に科目分類がなされており、基礎から順を追って各履修モデルコースの主要科目を履修できるように「モデルコース・専攻別履修推奨科目」を提示しています。その科目分類の順に履修モデルコースの主要科目を履修することで、計画的に学習を進めることができます。

また、国際的な視野や感覚、幅広い教養を身に付けるために、教養教育科目も用意しており、専門教育科目、教養教育科目を併せて、年間の履修登録上限単位数の 58 単位以内で履修計画を立てることとしています。

5. 資格

以下は、本学のカリキュラムからみて、本学在学中に受験しうる主要な国家資格です。

- ・ 情報処理技術者、公認会計士(補)、税理士、中小企業診断士、技術士 (補)

別表1 通信教育部 経営ネットワーク学科 モデルコース・専攻別カリキュラムポイント

経営管理システムスペシャリスト	的確かつ迅速に高度な経営判断を行うために必要となる、最新の経営理論をはじめとする幅広い経営知識を学べるカリキュラムを提供します。
e- ビジネススペシャリスト	「時間」と「空間」の制約から解放された21世紀型ビジネスに必要とされる経営知識を学べるカリキュラムを提供します。
グローバルビジネススペシャリスト	ビジネスの国際的な広がりに対応する知識と技術を学べるカリキュラムを提供します。

分類	履修年次の目安	科目名(～サブタイトル～)	単位数	履修モデルコース		
				経営管理システムスペシャリスト	e-ビジネススペシャリスト	グローバルビジネススペシャリスト
基礎	1・2	憲法 ～権力と自由、そして平和～	2			
		経営の基礎 ～企業とは何か、経営学とは何か～	2	○	○	○
		経営の応用 ～経営戦略の理論と実践～	2	○	○	○
		マーケティング論 ～自社の顧客であり続けてもらうための方法～	2	○	○	○
		簿記原理基礎編 ～企業活動と損益との関係～	2	○	○	○
		法学 ～裁判の新聞記事を読む前に～	2			
		商法 ～ビジネスと法～	2			
		経済学入門 ～競争と市場の役割を学ぶ～	2	○	○	○
		経営史 ～日本の経済・社会と企業の歴史が理解できる～	2	○	○	
		流通概論 ～流通や販売の仕組みがよくわかる～	2	○	○	○
		現代経済学 ～ニュースによく出る経済学～	2	○	○	○
		人的資源管理論 ～働かせ方と働き方～	2	○	○	○
		職業指導 ～不透明な仕事の世界を生き抜く力～	2			
		民法入門 ～市民生活と法～	2			
		情報リテラシー ～ワード・エクセル脱初心者～	2	○	○	○
		行列と連立1次方程式 ～線形代数の基本ツール～	2	○	○	○
		コンピュータサイエンス入門 ～0と1があればなんでもできる～	2	○	○	○
		コンピュータアーキテクチャ ～未来のコンピュータを考えよう～	2	○	○	○
		プログラムの仕組み ～アセンブラ言語によるプログラミングを通してハードウェアと親しくなる～	2	○	○	○
		コミュニケーション概論 ～意思疎通のメカニズム～	2		○	○
三角関数・指数関数・対数関数 ～知ってほしい関数達～	2	○	○	○		
ネットワークシステム概論 ～人間社会のいろいろなネットワーク～	2			○		
経営情報システム ～企業経営と情報技術～	2	○	○	○		
応用	2・3	経営者と意思決定 ～企業経営の全体を理解する～	2	○	○	○
		ブランドマネジメント ～私たちがブランドに魅力を感じるのとは何か～	2	○	○	○
		定量分析とその応用 ～ソフトウェアに頼らない統計解析～	2	○	○	
		簿記原理応用編 ～日々の取引の集積と決算～	2	○	○	○
		財務会計学基礎編 ～資源の配分と資本主義との関係～	2	○		
		情報システム学概論Ⅰ ～ITと経営課題を結びつけるものは何か？～	2			
		情報システム学概論Ⅱ ～企業におけるIT活用の主要な分野とは？～	2			
		経営戦略と組織 ～彼れを知り、己れを知らば、百戦して危うからず～	2	○		○
		経営科学 ～管理者の判断を科学する～	2	○	○	○
		管理会計論 ～経営の意思決定に役立つ会計～	2	○		
		産業心理学 ～組織・産業社会における人間行動の科学～	2			
		イノベーション概論 ～組織と技術をオープンにするビジネスモデル～	2		○	○
		消費者行動論 ～アンケートの考え方と作り方～	2		○	
		ホスピタリティマネジメント ～ホスピタリティをプロフィットチェーンに繋げる～	2			
		健康と社会 ～格差社会が健康を害する～	2			
		イノベーション組織論 ～イノベーションを実現する戦略と組織～	2	○	○	○
		プログラミング基礎 ～PCで空想を現実にする技術の基礎～	4	○	○	○
システム設計演習 ～演習で実感できる～	2	○	○	○		
インターネットアプリケーション ～文系学生がまなぶ情報学～	2	○	○	○		
データ伝送のしくみ ～データはどのように相手に伝わるのか？～	2	○	○	○		
知識マネジメントとその応用 ～創造活動のための『知』の支援～	2	○	○	○		
発展	3・4	e-ビジネス総論 ～進化するネットビジネスを読み解こう！～	2		○	
		サプライチェーンマネジメント ～顧客・企業間の繋がりが生み出すバリュー～	2		○	○
		ベンチャービジネス論 ～知識の新たな組み合わせがイノベーションを起こす～	2	○		○
		アントレプレナーシップ論 ～企業家が発想する能力～	2		○	○
		ERPシステム ～システム開発の新たな潮流とは何か？～	2			
		ITマネジメント ～失敗せずにITを経営に活かすための企業組織とは？～	2	○	○	
		ネットワークセキュリティ ～インターネットを安全に使うための技術と管理～	2	○	○	○
		知的所有権論 ～知識と技術と創造の生かし方、護り方～	2		○	○
		データ通信システム ～データを間違いなく相手に伝える～	2	○	○	
		卒業論文	8			